

▽ 及川 高 講師 OIKAWA, Takashi



所 属：総合文化学部 社会文化学科
 担当科目：民俗学概論、領域演習、演習、
 沖縄文化入門、南島民俗学史、
 南島の民俗文化、卒業論文指導演習、
 フレッシュマンセミナー

学歴等のプロフィール

- ① 【主要学歴】 ② 【学位】 ③ 【所属学会】 ④ 【主要な社会的活動】

| |
|--|
| ① 筑波大学大学院 人文社会科学部 歴史・人類学専攻 |
| ② 博士(文学) |
| ③ 日本民俗学会 文化人類学会 現代民俗学会 「宗教と社会」学会 American Folklore Society |
| ④ |

教育活動等

| 主な教育活動 | 年月日 | 摘要 |
|--------|-----|----|
| | | |

研究業績等

- 【主要論文及び主要著書】

| |
|--|
| ① 奄美一島嶼における人と海との関係性—喜界島民と糸満漁師の近代—(『史境』, 2007) |
| ② 先祖へと収束する力—喜界島における墓制とその語りを貫くもの—, (『文化人類学研究』, 2008) |
| ③ 与論島における死者祭祀と職業的専門家—大工・仏教僧侶・キリスト者の民俗文化へのまなざし—, 『遺体処理と祭祀に関する比較民俗学的調査研究(平成16年度～平成19年度科学研究費補助金(基盤研究(B)課題番号16401027)研究成果報告書(研究代表者:古家信平)』, 2008) |
| ④ 民俗学主要文献解題, 『日本の民俗・13巻(民俗と民俗学)』(湯川洋司・古家信平・安室知(編), 2009, 吉川弘文館) |
| ⑤ 来たるべき日の民俗学—ルーチン・フィードバック・スケール—, (『現代民俗学研究』, 2010) |

- ⑥ 奄美喜界島における「神々の明治維新」—神社神道とノロの宗教—, (『日本民俗学』, 2011)
- ⑦ (書評) 笹森儀助書簡集編纂委員会『笹森儀助書簡集』(『史境』, 2011)
- ⑧ (翻訳) Dorothy Noyes「ハンプル・セオリー」, (『現代民俗学研究』, 2011)
- ⑨ ボゼの現在をいかに描くか—悪石島における盆行事の現代的動態をめぐって—, (『沖縄民俗研究』, 2011)
- ⑩ 郷土をめぐる主体なき記憶—奄美・喜界島における民俗信仰の過去・現在・未来—, (『郷土再考』(時枝務・由谷裕哉(編), 2012, 角川学芸出版)
- ⑪ 奄美カトリック受容史の動態論—宗教言説の変容と民衆行動の力学—, (『宗教と社会』, 2013)
- ⑫ 近代奄美における親族と墓の変容—民俗の変容からみた民衆史の試み—, (『沖縄文化研究』, 2014)
- ⑬ 神女の回心はいかに語られたか—近代沖縄における村落祭祀の解体と力の転位—, (『オンラインジャーナル Contact Zone』, 2014)

研究分野

民俗学・文化人類学・歴史人類学

【Eメール・ホームページ等】

平成 27 年 4 月 30 日現在